

陰部洗浄の手順

使用物品

演習 練習

処置用シーツ(ビニル・綿)、便器、ディスポ手袋、シャワーボトル、37℃～39℃の温湯、石鹼、トイレトーパー、(タオル)				
準備	対象のアセスメント 状態の把握: 安静度、一般状態、排泄状況、排泄体位 使用物品を揃える 環境を整える 便器を暖めるもしくはカバーをかける プライバシーの保護 保温	便器が冷たくない		
	女性の陰部洗浄	便器挿入までは、排泄介助(便器)に同じ 処置用シーツを腰の下に引く 和式寝衣の足元を腰までたくし上げる 下着をはずす 便器を挿入する 安楽な体位を整える 下肢は膝を立てる 可能な範囲で股関節を開く タオルケットで左下肢を覆う 両鼠径、恥丘部にタオルを当てる 右下肢をバスタオルで覆う ディスポ手袋を装着する シャワーボトルの微温湯を掛ける 看護師の前腕内側で温度を確認する 患者の臀部や大腿内側などで温度の確認をする ガーゼに石鹼をつける 左手で大陰唇を開く 尿道口、小陰唇を上から下方向に洗浄する 恥丘、大陰唇、鼠径部、会陰、肛門部を洗う ガーゼは、便器もしくは汚物廃棄容器に捨てる 手についた石鹼を洗浄用のお湯で洗い流す 手袋が汚染した場合は、交換する 大陰唇を開きながら、洗浄した順にお湯で十分に洗い流す ペーパーまたは陰部用のタオルで、陰部の水分をふき取る 腰を拳上してもらう 臀部まで十分に拭く 便器を除去する 手袋をはずす 下着をつける 処置用シーツをはずす バスタオルをはずし、寝衣、掛け物をを整える	排便後陰部洗浄することも多い 下肢の角度は安楽に影響する 下肢は伸展した状態でも良い 水が腹部などに流れないようにする 皮膚を十分に湿らせ、石鹼の泡だちを良くする 水圧で汚れを落とす ガーゼ以外に、お尻拭き、陰部用タオルなどを患者が準備する物品を用いる できるだけ便器に入れない 皮膚のpHを酸性に戻す	

	<p>ディスポ手袋の装着までは、女性と同じ 陰茎を把持する</p> <p>羞恥心の問題:タオルで顔を隠す、時間を置くなど配慮する</p> <p>尿道口、亀頭、包皮、陰茎体部、根部、陰囊、陰囊裏側、恥骨丘、鼠径部、会陰部、肛門部にお湯をかける</p> <p>包皮をずらしてお湯をかける</p> <p>ガーゼで把持しても良い</p>	<p>ガーゼで把持しても良い</p> <p>物理的な刺激で生理的に反応する</p> <p>皮膚を十分に湿らせ、石鹼の泡だちを良くする</p> <p>水圧で汚れを落とす</p>		
<p>男性の陰部洗浄</p>	<p>ガーゼに石鹼をつける</p> <p>恥垢を十分に洗い流す</p> <p>尿道口、亀頭、包皮、陰茎体部、根部を石鹼で洗う</p> <p>陰囊、陰囊裏側、恥骨丘、鼠径部、会陰部、肛門部を石鹼で洗う</p> <p>ガーゼは、便器もしくは汚物廃棄容器に捨てる</p> <p>手についた石鹼を洗浄用のお湯で洗い流す</p> <p>手袋が汚染した場合は、交換する</p> <p>尿道口、亀頭、包皮、陰茎体部、根部、陰囊、陰囊裏側、恥骨丘、鼠径部、会陰部、肛門部にお湯をかけ、十分に石鹼を洗い流す</p> <p>ペーパーまたは陰部用のタオルで、陰部の水分をふき取る</p> <p>腰を拳上してもらう</p> <p>臀部まで十分に拭く</p> <p>便器を除去する</p> <p>手袋をはずす</p> <p>下着をつける</p> <p>処置用シーツをはずす</p> <p>バスタオルをはずし、寝衣、掛け物をを整える</p>			

確認者サイン